



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東北新社
コード番号 2329 URL <https://www.tfc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小坂 恵一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中野 智司 TEL 03-5414-0211
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|-------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 12,349 | △6.0 | 297 | △67.9 | 63 | △93.9 | △86 | — |
| 2023年3月期第1四半期 | 13,131 | 13.4 | 927 | 138.8 | 1,044 | 43.7 | 509 | 43.6 |

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 325百万円 (△53.6%) 2023年3月期第1四半期 700百万円 (284.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第1四半期 | △1.93 | — |
| 2023年3月期第1四半期 | 11.33 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 94,835 | 77,397 | 80.8 |
| 2023年3月期 | 97,148 | 77,946 | 79.5 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 76,642百万円 2023年3月期 77,237百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 19.00 | 19.00 |
| 2024年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2024年3月期（予想） | — | 0.00 | — | 19.00 | 19.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 53,173 | △4.9 | 2,948 | △29.8 | 3,414 | △29.2 | 3,398 | 8.5 | 75.62 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期1Q | 46,735,334株 | 2023年3月期 | 46,735,334株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期1Q | 1,786,847株 | 2023年3月期 | 1,786,847株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年3月期1Q | 44,948,487株 | 2023年3月期1Q | 44,948,487株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (四半期連結損益計算書) | 6 |
| (四半期連結包括利益計算書) | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高12,349百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益297百万円（前年同期比67.9%減）、経常利益63百万円（前年同期比93.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失86百万円（前年同期は509百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 広告プロダクション

広告プロダクションの売上高は、前年同期に比べ7.8%減の4,791百万円となり、営業利益は前年同期に比べ43.4%減の112百万円となりました。CM制作部門において、期首在庫が前年同期よりも少なかったことや、納品の月ズレ等もあり、減収となりました。一方、利益に関しては、CM制作部門の利益率改善があったものの、株式会社ENJINの決算期を12月から3月に変更したことに伴い、同社ののれんと顧客関連資産の償却費を6ヶ月分取り込んだ影響もあり、減益となりました。

② コンテンツプロダクション

コンテンツプロダクションの売上高は、前年同期に比べ15.9%減の2,415百万円となり、営業利益は前年同期に比べ71.9%減の58百万円となりました。音響字幕制作部門において、前年同期好調だった動画配信サービス会社からの受注が減少したこと、また、デジタルプロダクション部門において編集・CG作業の受注が減少したことにより、減収減益となりました。

③ メディア

メディアの売上高は、前年同期に比べ8.9%増の4,047百万円となり、営業利益は前年同期に比べ20.2%減の587百万円となりました。関連チャンネル子会社2社の決算期を12月から3月に変更したことに伴い、当第1四半期は当該会社の6ヶ月間の業績を取り込んだこと等により増収となりました。一方、利益に関しては、関連チャンネル子会社の契約世帯数減少や前期に株式を譲渡した株式会社ザ・シネマの連結除外の影響及び前期決算期変更を行った関連チャンネル子会社の6ヶ月間の業績取込の反動等もあり、減益となりました。

④ プロパティ

プロパティの売上高は、前年同期に比べ50.1%減の429百万円となり、営業損失は79百万円（前年同期は291百万円の営業利益）となりました。前年同期に計上された『牙狼<GARO>』関連案件の売上が当第1四半期にはなかったこと、また当期は出資作品の償却費が発生したこと等により、減収減益となりました。

⑤ 物販

物販の売上高は、前年同期に比べ0.1%増の1,291百万円となり、営業利益は29百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。売上高は前年同期並みですが、スーパー部門の利益率改善等により増益となりました。

(注) 上記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んだ金額を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、94,835百万円であり、前連結会計年度末に比べ2,312百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加758百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少4,022百万円及び仕掛品の増加970百万円等であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、17,438百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,763百万円減少いたしました。この主な要因は、買掛金の減少1,675百万円等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、77,397百万円であり、前連結会計年度末に比べ549百万円減少いたしました。この主な要因は、利益剰余金の減少940百万円及びその他有価証券評価差額金の増加324百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の見通しですが、当第1四半期において、売上、営業利益は概ね計画通りに推移しております。一方で投資運用に関する損失の発生があり、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は若干計画を下回っておりますが、現状は、2023年6月16日に発表済の2024年3月期の業績予想を据え置きます。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいて作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 37,583 | 38,342 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 14,410 | 10,388 |
| 有価証券 | 96 | 219 |
| 映像使用権 | 2,799 | 2,944 |
| 仕掛品 | 2,105 | 3,075 |
| その他の棚卸資産 | 506 | 383 |
| その他 | 1,065 | 935 |
| 貸倒引当金 | △13 | △13 |
| 流動資産合計 | 58,554 | 56,277 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 13,492 | 13,496 |
| その他(純額) | 6,615 | 6,486 |
| 有形固定資産合計 | 20,107 | 19,982 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,521 | 1,436 |
| 顧客関連資産 | 942 | 890 |
| その他 | 480 | 431 |
| 無形固定資産合計 | 2,944 | 2,758 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 14,295 | 14,544 |
| その他 | 1,465 | 1,497 |
| 貸倒引当金 | △220 | △225 |
| 投資その他の資産合計 | 15,540 | 15,816 |
| 固定資産合計 | 38,593 | 38,557 |
| 資産合計 | 97,148 | 94,835 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 9,212 | 7,537 |
| 短期借入金 | 929 | 1,129 |
| 未払法人税等 | 715 | 125 |
| 賞与引当金 | 869 | 397 |
| その他 | 2,361 | 3,368 |
| 流動負債合計 | 14,087 | 12,557 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 440 | 168 |
| 役員退職慰労引当金 | 336 | 348 |
| 退職給付に係る負債 | 1,553 | 1,531 |
| その他 | 2,783 | 2,831 |
| 固定負債合計 | 5,113 | 4,880 |
| 負債合計 | 19,201 | 17,438 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,487 | 2,487 |
| 資本剰余金 | 3,588 | 3,588 |
| 利益剰余金 | 68,487 | 67,547 |
| 自己株式 | △1,728 | △1,728 |
| 株主資本合計 | 72,834 | 71,894 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,035 | 3,360 |
| 為替換算調整勘定 | 1,027 | 1,079 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 340 | 308 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,402 | 4,748 |
| 非支配株主持分 | 709 | 754 |
| 純資産合計 | 77,946 | 77,397 |
| 負債純資産合計 | 97,148 | 94,835 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 13,131 | 12,349 |
| 売上原価 | 9,115 | 8,813 |
| 売上総利益 | 4,015 | 3,536 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,087 | 3,238 |
| 営業利益 | 927 | 297 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 22 |
| 受取配当金 | 70 | 95 |
| 出資金運用益 | 106 | — |
| 経営指導料 | 26 | 27 |
| 受取家賃 | 57 | 61 |
| その他 | 14 | 16 |
| 営業外収益合計 | 277 | 223 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3 | 13 |
| 持分法による投資損失 | 46 | 0 |
| 為替差損 | 91 | 92 |
| 不動産賃貸原価 | 14 | 23 |
| 投資事業組合運用損 | — | 314 |
| 支払手数料 | 6 | 6 |
| その他 | 0 | 5 |
| 営業外費用合計 | 161 | 457 |
| 経常利益 | 1,044 | 63 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,044 | 63 |
| 法人税等 | 481 | 83 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 562 | △20 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 52 | 66 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 509 | △86 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 562 | △20 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △323 | 324 |
| 為替換算調整勘定 | 457 | 50 |
| 退職給付に係る調整額 | △6 | △31 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 11 | 1 |
| その他の包括利益合計 | 138 | 345 |
| 四半期包括利益 | 700 | 325 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 647 | 258 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 52 | 66 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった、株式会社ENJIN、株式会社スター・チャンネル及び株式会社囲碁将棋チャンネルの3社は、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第1四半期連結累計期間において、2023年1月1日から2023年6月30日までの6ヶ月間を連結しております。

なお、決算期変更した当該3社の2023年1月1日から2023年3月31日までの売上高は2,219百万円、営業利益は175百万円、経常利益は164百万円、税引前四半期純利益は164百万円であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|---------------|------------------|-------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 広告 プロダクション | コンテンツ プロダクション | メディア | プロパティ | 物販 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,164 | 2,337 | 3,665 | 705 | 1,257 | 13,131 | — | 13,131 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 35 | 535 | 49 | 153 | 33 | 807 | △807 | — |
| 計 | 5,199 | 2,873 | 3,715 | 859 | 1,290 | 13,939 | △807 | 13,131 |
| セグメント利益 | 198 | 206 | 735 | 291 | 2 | 1,434 | △506 | 927 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△506百万円には、セグメント間取引消去21百万円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)359百万円及び全社費用△887百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|---------------|------------------|-------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 広告 プロダクション | コンテンツ プロダクション | メディア | プロパティ | 物販 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,752 | 2,010 | 3,988 | 334 | 1,264 | 12,349 | — | 12,349 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 39 | 405 | 59 | 94 | 27 | 625 | △625 | — |
| 計 | 4,791 | 2,415 | 4,047 | 429 | 1,291 | 12,975 | △625 | 12,349 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 112 | 58 | 587 | △79 | 29 | 707 | △409 | 297 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△409百万円には、セグメント間取引消去55百万円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)321百万円及び全社費用△787百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。